

新型コロナウイルス感染症等に対応した避難所の運営等について

避難所運営マニュアルに以下の対応を加え、感染症対策を行う。

1. 平時の対応

(1) 市民への周知

予め避難行動を確認しておくことの重要性について市民へ周知する。

- ① 指定避難所以外の避難所への避難の検討（親戚や友人の家等）
- ② 準備する防災用品の見直し

必要物資

体温計・マスク・アルコール消毒液・使い捨て手袋・石けん・ビニール袋・ペーパータオル・ハンカチ・毛布・食料・飲み物等

(2) 避難の分散化

- ① 発熱や咳等の風邪症状がある方等の避難先を確保する
 - ・ 複数の避難場所等の開設を検討する
 - ・ 指定避難所の空き部屋等の活用（個室の確保）
- ② 感染症に罹患した場合に重症化しやすい方※や妊娠をしている方の避難場所としてホテルや旅館を活用する

※重症化しやすい方とは

高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方
透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

(3) 避難所で必要な備蓄品の確保・準備

- ・ マスク、アルコール消毒薬、ハンドソープ、ペーパータオル、体温計（非接触型）、使い捨て手袋、ビニール袋、塩素系漂白剤（環境消毒用）、簡易間仕切り、大型扇風機等

2. 発災時の対応

(1) 開設準備

- ・ 避難スペース（部屋、階など）の確認。（症状がある方とない方の区域分け）
【間仕切り等の設置・間仕切りがない場合はブルーシートや養生テープ等】
- ・ 換気ができるよう窓や扉を開放
- ・ 椅子などを準備する場合は、最低2m離して設置
- ・ 消毒薬等の設置

(2) 受付時の対応

- ・ 入口で手指消毒及び咳エチケットやマスク着用についてお願いする
 - ※避難者について、マスク着用は個人の判断が基本となりますが、高齢者など感染症等のリスクの高い方への感染を防ぐため、混雑した場面ではマスクの着用を推奨します
 - ・ 受付を行う職員等については、可能な限りマスク等を着用し、こまめな手洗いや手指消毒を励行します
 - ・ 机、椅子、受付名簿等を用意し、記入のお願い及び検温
(筆記用具は定期的に消毒する)
 - ・ 並んでいる方は1 m 以上は間をあけるようお願いする
- ◆受付時に、発熱、咳、強い倦怠感、風邪症状等を訴える方は、マスク着用をお願いし、専用スペースへ案内する。必要に応じて関係機関と連携を図る。
(介助・看護等が必要な場合は、最少人数の家族の付き添い可とする)

(3) 避難所内での感染予防

○居住スペース等

- ・ 1人あたり2～4 m²を目安とし、2 mの間隔をあける
 - ・ 別世帯が向かい合わないようにすることが望ましい
 - ・ 距離を十分に保てない場合は、簡易間仕切りなどを用いて区分けする
 - ・ 内履きと外履き（土足）のエリアを分ける
 - ・ 定期的な換気（1時間に2回など）を時間を決めて行う※大型扇風機
- ※発熱・咳等の症状が出た者の専用のスペースやトイレは一般の避難者とゾーン・動線を分けること

○衛生監理（避難者、ボランティア、全ての職員）

- ・ 手洗いの励行
- ※食事前、トイレに行った後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ後、オムツの交換後、動物の世話をした後、ゴミを取り扱った後は必ず手洗いをを行うよう呼びかける（物資の配給等は各自受け取るようにし、手渡しで行う際は使い捨て手袋の着用をする）
- ・ 事前に準備した感染予防のためのポスターなどを掲示する
- ・ 不特定多数の方が触るドアノブや手すり、テーブル、洗面台、蛇口等は定期的に消毒を行う
- ・ タオルや食器等は共有しないよう呼びかける
- ・ ごみを捨てる際は袋を密閉して捨てる。また、ごみ箱が満杯になる前に入れ替える
- ・ おむつ交換スペースは使用の都度、清掃する

- ・ 清潔を保つために定期的に居住スペース及びトイレの清掃を行う

○避難者の健康状態の確認

- ・ 発熱、咳等の症状が現れた場合は、職員等に報告するよう周知する

※避難者の健康状態を定期的に把握する

○避難所の閉鎖

- ・ 閉鎖の際は、避難所になった施設等の利用者の安全を守るため、避難所配備職員を中心に適切に消毒等を行い閉鎖する

避難されているみなさまへ

感染予防対策へのご協力について

○ご飯の前、トイレの後、オムツの交換後等には必ず手を洗いましょう。

(◆手指消毒をお願いします)

正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2 手の甲をのぼすようにこすります。



3 指先・爪の間を念入りにこすります。



4 指の間を洗います。



5 親指と手のひらをねじり洗いします。



6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

○お互いに距離を取りましょう。

(◆ 1 ~ 2 m)



○咳が出るときには周りに飛ばさないように口や鼻をおおきましょう。

(◆マスクを着用する ◆ティッシュ・ハンカチで覆う ◆袖で覆う)

3つの咳エチケット



マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする 咳やくしゃみを手でおさえる

正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を確実に覆う



② ゴムひもを耳にかける



③ 隙間がないよう鼻まで覆う

○熱っぽい、のどが痛い、咳、嘔吐、下痢などがあるときは代表の方に相談してください。

(◆いつもと様子が違う場合なども相談してください)